

---

金沢マラソン2024  
(KM2024)  
大学連携成果発表会報告

# KM2024経済波及効果について

令和7年3月22日

金沢学院大学経済学部 岡部倫乃 小川凜子 清水音翠 庄田菜々子 吉田理子  
監修:経済学部教授 豊田欣吾

---

# 構成

---

- (1) KM2024ランナーアンケートの概要
- (2) KM2024の石川県内への経済波及効果
- (3) ランナーの参加回数別消費単価・同行者比率
- (4) 県外ランナーの観光動向
- (5) まとめ

# 表1 KM2024ランナーアンケート(国内)回答者

地域名	参加者（事前登録者）		アンケート回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
石川県内	7,470	48.0	1,619	46.5
金沢市内	N.A.	N.A.	936	26.9
金沢市外	N.A.	N.A.	683	19.6
石川県外	8,090	52.0	1,864	53.5
隣接県	1,659	10.7	392	11.3
遠隔県	6,431	41.3	1,472	42.3
関東圏	2,373	15.3	539	15.5
近畿圏	1,789	11.5	409	11.7
東海圏	1,302	8.4	293	8.4
その他	967	6.2	231	6.7
合計	15,560	100.0	3,483	100.0

- ・今回のアンケート(国内)回答者は3,483件
- ・回答者の地域別の構成は事前登録者の地域別構成と近似しており、アンケートの結果は母集団の状況を反映しているものと考えられる。

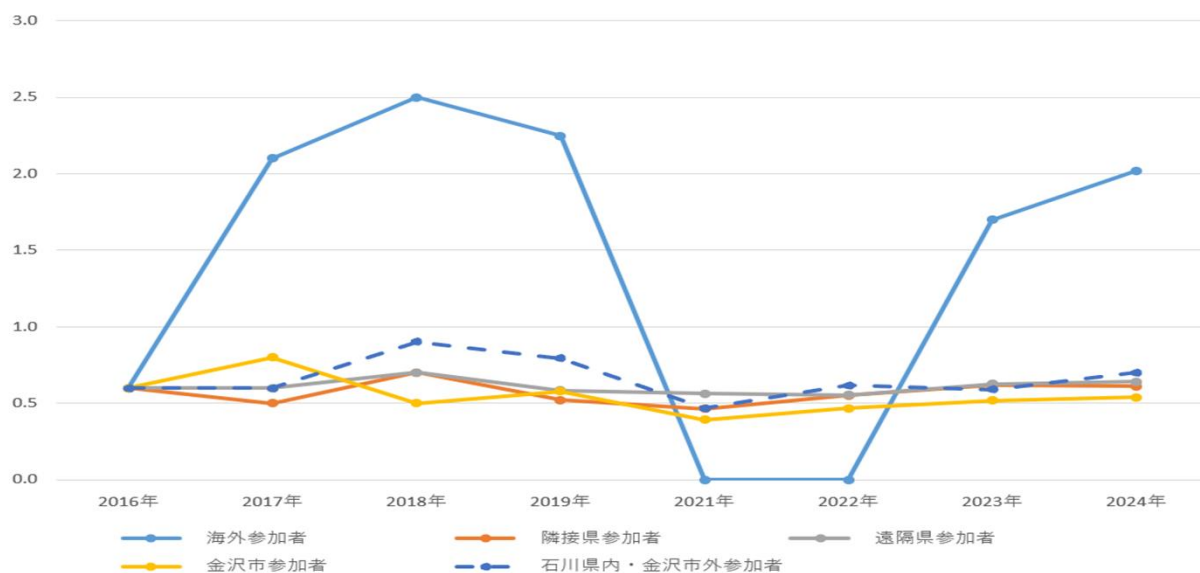
資料:KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

## 表2 ランナーアンケート回答者地域別内訳の推移

	KM2019(E)			KM2021(F)			KM2022(F)			KM2023(F)			KM2024(F)		
	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比
金沢市内	788	20.9	N.A.	1,195	22.9	N.A.	929	23.0	N.A.	1,041	24.9	N.A.	936	26.4	N.A.
石川県内 (除く金沢市内)	698	18.5	N.A.	930	17.9	N.A.	721	17.8	N.A.	825	19.7	N.A.	683	19.3	N.A.
石川県内	1,486	39.4	39.7	2,125	40.8	40.5	1,650	40.8	42.2	1,866	44.7	41.8	1,619	45.7	48.0
石川県外	2,283	60.6	60.3	3,084	59.2	59.5	2,391	59.2	57.8	2,312	55.3	58.2	1,864	52.6	52.0
北海道・東北・新潟	84	2.2	2.1	108	2.1	2.3	105	2.6	2.4	92	2.2	2.1	73	2.1	2.2
関東	650	17.2	16.2	873	16.8	16.4	695	17.2	17.0	630	15.1	15.9	539	15.2	15.3
甲信(山梨・長野)	56	1.5	1.2	51	1.0	0.9	43	1.1	1.0	51	1.2	1.2	39	1.1	1.0
隣接県(富山・福井・岐阜)	227	6.0	6.7	336	6.5	6.5	314	7.8	7.6	332	7.9	8.1	392	11.1	10.7
東海(愛知・静岡・三重)	333	8.8	8.9	543	10.4	10.6	456	11.3	11.3	415	9.9	9.4	293	8.3	8.4
近畿	557	14.8	13.5	997	19.1	19.1	632	15.6	15.2	603	14.4	12.8	409	11.5	11.5
中国・四国	109	2.9	2.6	117	2.2	2.4	95	2.4	2.1	88	2.1	1.9	70	2.0	1.9
九州・沖縄	44	1.2	1.0	59	1.1	1.3	51	1.3	1.1	48	1.1	1.1	50	1.4	1.1
海外	223	5.9	8.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	53	1.3	5.7	61	1.7	4.2
合計	3,769	100.0	100.0	5,209	100.0	100.0	4,041	100.0	100.0	4,178	100.0	100.0	3,544	100.0	100.0
住所地未回答	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
再計	3,769	100.0		5,209	100.0		4,041	100.0		4,178	100.0		3,544	100.0	

資料: KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図1 参加ランナー同行者比率の推移



【表3】参加ランナー同行者比率の推移

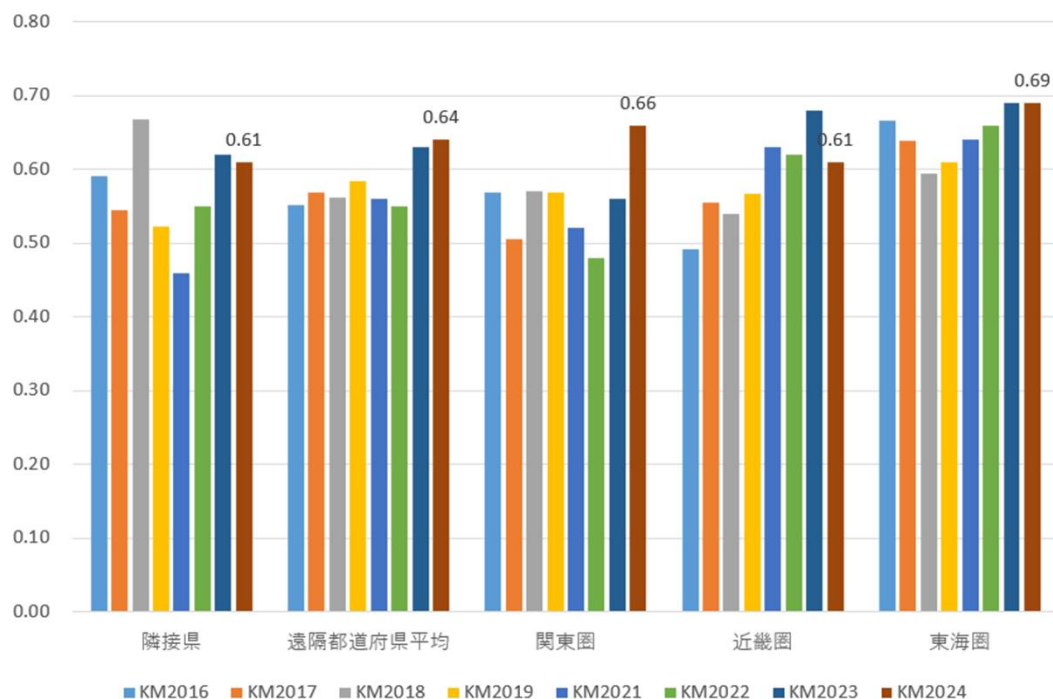
(単位：人)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年	2024年
海外参加者	0.6	2.1	2.5	2.2	0.0	0.0	1.7	2.0
隣接県参加者	0.6	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
遠隔県参加者	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
金沢市参加者	0.6	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.5
石川県内・金沢市外参加者	0.6	0.6	0.9	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7

資料：KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・参加ランナーの同行者比率は、海外ランナーの同行者比率が上がったことで前回大会【KM2023】と比べてさらに上昇。
- ・一方、隣接県参加者、遠隔県参加者、金沢市参加者の同行者比率には大きな変化はみられなかった。

## 図2 県外ランナーの地域別同行者比率の推移



【表4】 県外ランナー 地域別同行者比率の推移

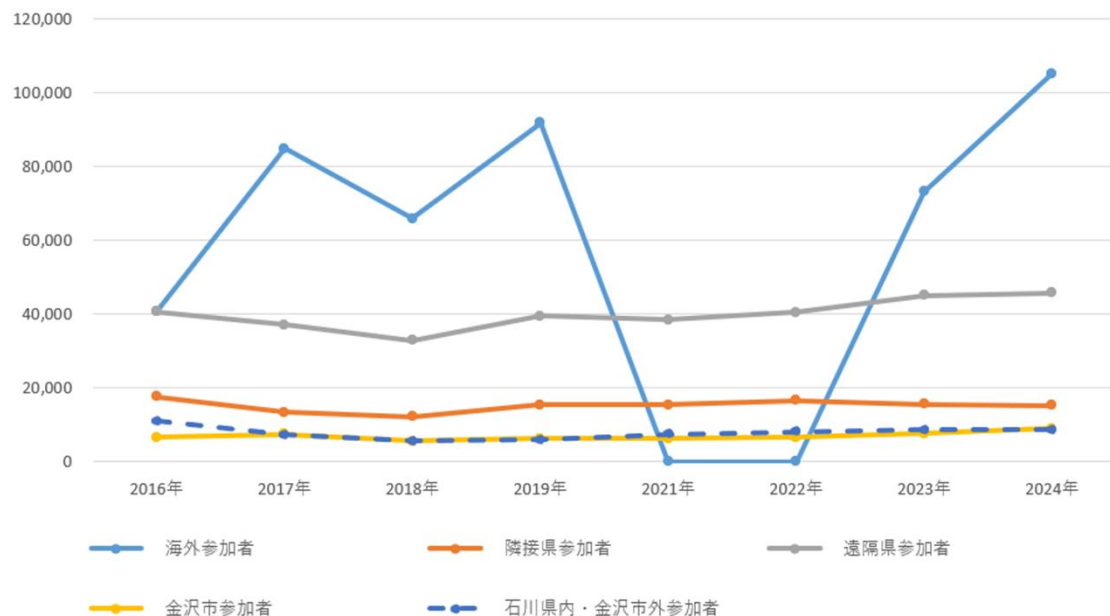
(単位：人)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2016	0.59	0.55	0.57	0.49	0.67	N.A
KM2017	0.54	0.57	0.51	0.55	0.64	2.10
KM2018	0.67	0.56	0.57	0.54	0.59	2.50
KM2019	0.52	0.58	0.57	0.57	0.61	2.25
KM2021	0.46	0.56	0.52	0.63	0.64	-
KM2022	0.55	0.55	0.48	0.62	0.66	-
KM2023	0.62	0.63	0.56	0.68	0.69	1.70
KM2024	0.61	0.64	0.66	0.61	0.69	2.02

資料：KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・地域別にみた同行者比率は、隣接県、遠隔県ともに上昇。
- ・隣接県については、大きな変化は見られなかったが、遠隔県については、関東圏の同行者比率が上昇した一方で、近畿圏の同行者比率が低下した。

# 図3 参加ランナーの消費単価の推移



【表5】参加ランナー消費単価推移

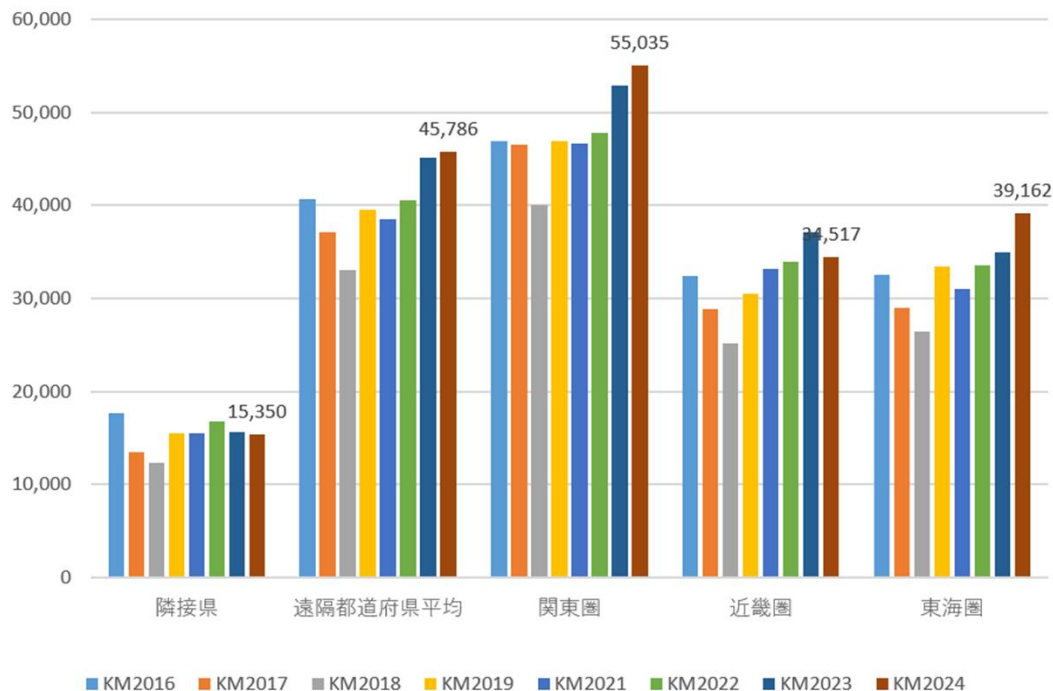
(単位: 円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年	2024年
海外参加者	40,750	85,000	65,984	91,863	0	0	73,331	105,221
隣接県参加者	17,679	13,411	12,296	15,532	15,517	16,737	15,603	15,350
遠隔県参加者	40,750	37,148	33,033	39,537	38,536	40,591	45,108	45,786
金沢市参加者	6,740	7,543	5,653	6,362	6,427	6,619	7,746	9,023
石川県内・金沢市外参加者	11,116	7,331	5,609	6,038	7,560	8,179	8,664	8,676

- ・全体の消費単価は上昇したものと考えられる。
  - ・第一に、消費単価の高い海外ランナーの消費単価がさらに上昇したことや海外ランナーの同行者比率が上昇したことによる影響が大きい。
  - ・第二に金沢市参加者の消費単価が1割以上も上昇したことの影響も大きい。
- ※ただし、足元の物価上昇が影響している可能性もある。



# 図4 県外ランナー 地域別消費単価の推移



【表6】 県外ランナー 地域別1人当たり消費金額の推移 (単位:円)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2016	17,679	40,750	46,905	32,408	32,529	N.A
KM2017	13,411	37,148	46,520	28,908	29,030	85,000
KM2018	12,296	33,033	40,011	25,154	26,403	65,984
KM2019	15,532	39,537	46,891	30,459	33,408	91,863
KM2021	15,517	38,536	46,726	33,221	31,075	-
KM2022	16,737	40,591	47,877	34,008	33,504	-
KM2023	15,603	45,108	52,881	37,184	34,962	73,331
KM2024	15,350	45,786	55,035	34,517	39,162	105,221

資料:KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・遠隔県ランナーの消費単価が45,786円まで上昇、とくに関東圏ランナーの消費単価は55,035円まで上昇した(関東圏ランナーの消費単価の水準が他圏域に比べて相対的に高くなるという傾向自体に変化はない)。
- ・また、海外ランナーの消費単価も初めて10万円を上回ることとなった。



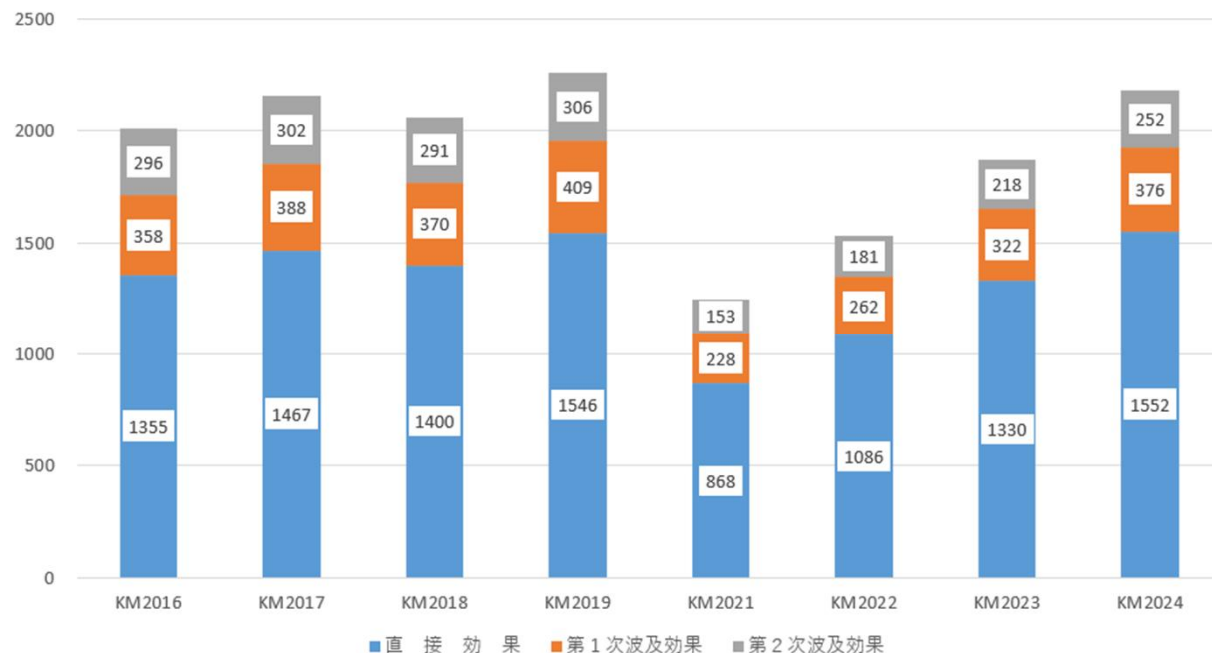
## 表7 消費総額の推計

項目	人数 (人)	消費単価 (円)	消費額(A) (百万円)	参考	
				2023年 消費額(B)	A-B
ランナー消費額	15,115		424	385	39
県外	8,149		362	267	95
海外	605	105,221	64	60	4
隣接県	1,547	15,350	24	15	9
その他	5,997	45,786	275	264	11
石川県内	6,966		62	46	16
金沢市内	3,725	9,023	34	24	10
金沢市外	3,240	8,676	28	22	6
ランナー同行者消費額	10,246		391	301	90
県外	5,980		353	276	77
海外	1,637	105,221	172	101	71
隣接県	602	15,350	9	10	-1
その他	3,741	45,786	171	165	6
石川県内	4,266		38	25	13
金沢市内	2,007	9,023	18	13	5
金沢市外	2,259	8,676	20	13	7
沿道応援者消費額	214,314	2,965	635	497	138
ボランティア消費額	4,500	975	4	5	-1
大会関係者消費額	2,445	975	2	2	0
関係者消費額 合計			1,456	1,189	267
大会運営費			548	512	36
消費額・大会運営費合計			2,004	1,701	303

資料: KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・前回【KM2023】と比べると、参加ランナー増加から、ランナー消費額、ランナー同行者消費額ともに増加。
- ・また、沿道応援者の増加から、沿道応援消費額も増加した。
- ・以上により、参加ランナー等の消費額やその他の関連する消費額、さらには、大会運営費全て合計すると、約20.0億円の消費が発生したものと推計される。

## 図5 石川県内への経済波及効果額の推移



・KM2024開催による石川県内への経済波及効果は、マラソン参加者等が県内で消費することによって生まれる「直接効果」が15.5億円、直接効果によって誘発される「第1次波及効果」が3.8億円、「第2次波及効果」が2.5億円となり、全体の経済波及効果は21.8億円となった。

【表8】経済波及効果推移

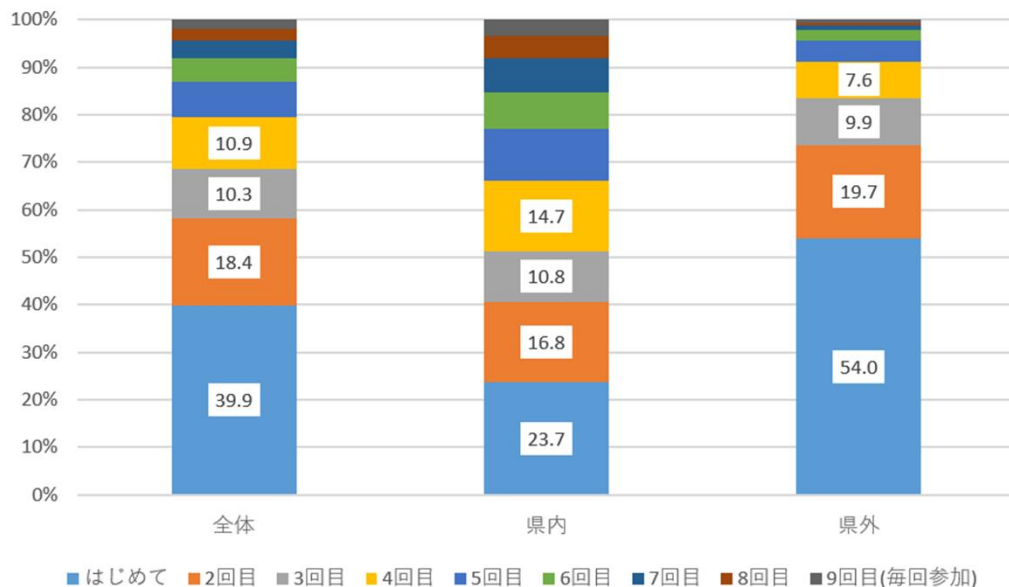
(単位:百万円)

	KM2016	KM2017	KM2018	KM2019	KM2021	KM2022	KM2023	KM2024
直接効果	1355	1467	1400	1546	868	1086	1330	1552
第1次波及効果	358	388	370	409	228	262	322	376
第2次波及効果	296	302	291	306	153	181	218	252
経済波及効果	2010	2157	2061	2260	1248	1528	1870	2179

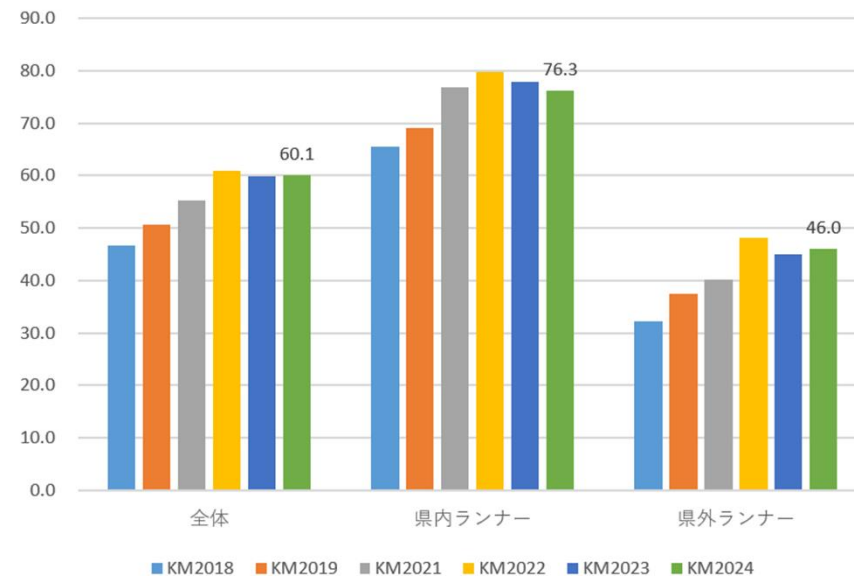
資料:KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

## 図6・図7 ランナー参加回数別分析

【図6】KM2024ランナー参加回数別構成比(単位: %)



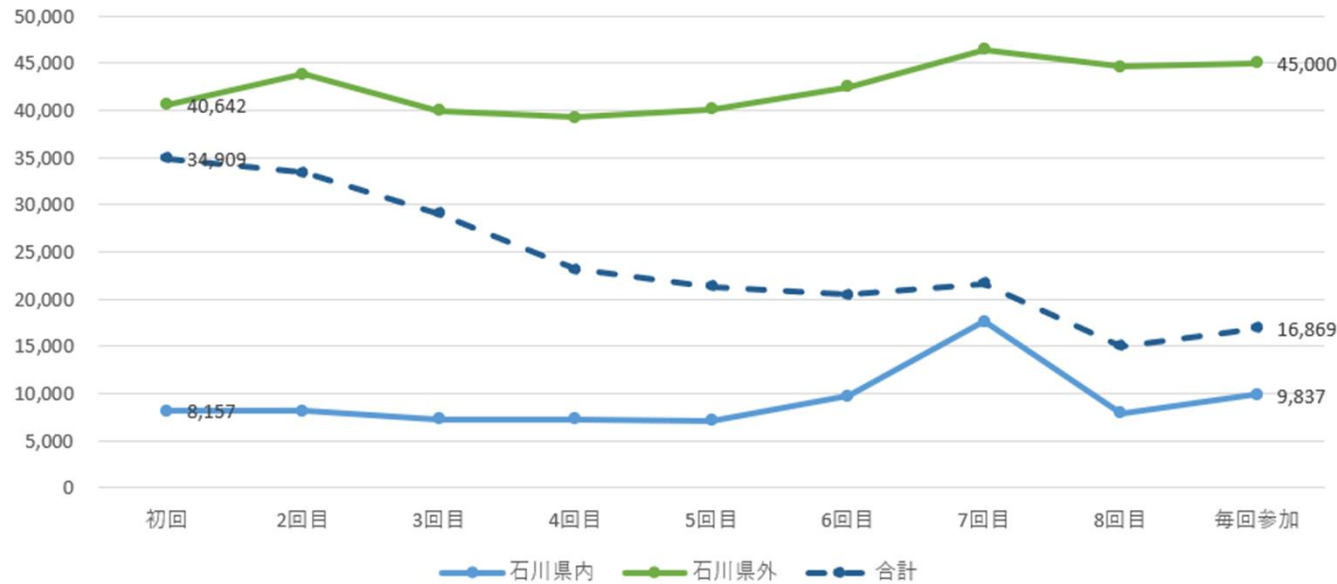
【図7】リピーター比率の推移(単位: %)



資料: KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ここにきて国内ランナーのリピーター比率は頭打ち傾向がみられる。
- ・リピーター比率が高まっていくことは初めて参加するランナーの比率が低下していくことでもあり、むしろ、イベントの活力が維持・強化されるためには一定程度の参加者の新陳代謝が必要である。よって、リピーター比率の頭打ち傾向は必ずしも悪いことではない。

## 図8 ランナー参加別消費単価の推移



・消費単価を県内外で比較すると、県外の消費単価圧倒的に高い。  
 また、参加回数を重ねても消費単価は県外・県内ともに比較的安定している。  
 なお、全体の消費単価が回を重ねるごとに低下するのは、県内・県外ランナーの構成比の変化によるもの。

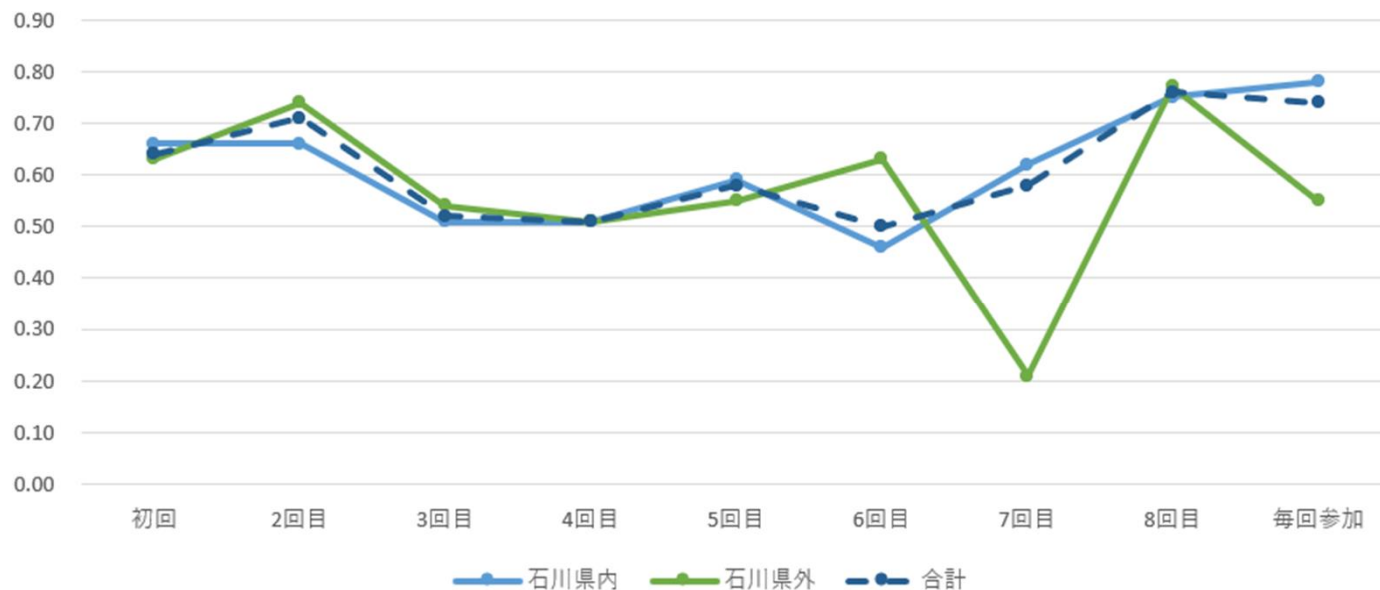
【表9】KG2023ランナー参加回数別消費単価

(単位: 円)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	毎回参加	平均
石川県内	8,157	8,134	7,231	7,289	7,146	9,688	17,585	7,930	9,837	8,876
石川県外	40,642	43,872	40,012	39,232	40,133	42,523	46,462	44,667	45,000	41,226
合計	34,909	33,388	29,085	23,136	21,365	20,466	21,622	15,040	16,869	29,961

資料: KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

## 図9 ランナー参加回数別同行者比率の推移



- ・回を重ねるごとの同行者比率を県内外で比較すると、大きな差が生じることを明確に確認することはできない。
- ・また、回を重ねるごとの同行者比率の変化（低下傾向、或いは上昇傾向）についても、明確に確認することはできない。

【表10】 KM2023ランナー参加回数別同行者比率

(単位：人)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	毎回参加	平均
石川県内	0.66	0.66	0.51	0.51	0.59	0.46	0.62	0.75	0.78	0.61
石川県外	0.63	0.74	0.54	0.51	0.55	0.63	0.21	0.77	0.55	0.63
合計	0.64	0.71	0.52	0.51	0.58	0.50	0.58	0.76	0.74	0.62

資料：KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

# 表11 県外ランナーの観光動向

【表11】観光先別観光者数（県外ランナー、複数回答）対比

	KM2023			KM2024		
	人数（人）	構成比	実観光者数比	人数（人）	構成比	実観光者数比
兼六園	694	18.3	46.4	513	18.4	43.8
金沢城公園	777	20.5	52.0	534	19.2	45.6
金沢21世紀美術館	420	11.1	28.1	296	10.6	25.3
近江町市場	923	24.3	61.7	638	22.9	54.5
ひがし茶屋街	479	12.6	32.0	358	12.9	30.6
長町武家屋敷	192	5.1	12.8	140	5.0	12.0
輪島朝市	12	0.3	0.8	—	—	—
和倉温泉	18	0.5	1.2	—	—	—
加賀湯泉郷	38	1.0	2.5	33	1.2	2.8
その他	243	6.4	16.3	271	9.7	23.1
観光者小計（延べ人数：A）	3,796	100.0		2,783	100.0	
観光はしていない（B）	764			693		
回答ランナー数（C：人）	2,259			1,864		
実観光者数（D = C - B：人）	1,495			1,171		
実観光者比率（E = D / C × 100：%）	66.2			62.8		
一人当たり観光先件数（F = A / D：件）	2.5			2.4		

資料：KM2024ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・県外ランナーの実観光者比率や一人当たり観光件数は、前回【KM2023】と比較して、大きな変化はみられない。
- ・なお、訪問した観光先についてのアンケートでは、能登半島地震の影響から、輪島朝市や和倉温泉といった選択肢は除くこととした。

## まとめ(1)

---

- ・KM2024の開催による経済波及効果は約21.8億と推計される。前回大会【KM2023】の経済波及効果額約18.7億円と比べると約3.1億円の増加となった。また、過去のピークである2019年大会【KM2019】の約22.6億と比較すると、それには僅かに及ばなかったものの、ほぼ同程度の経済波及効果が生み出されたものと捉えることができる。
- ・前回大会【KM2023】に比べて、経済波及効果額が増加したのは、国内ランナーの増加やそれに伴うランナー同行者の増加、さらには消費単価の上昇が影響している。また、海外ランナーの消費単価や同行者比率が上昇したことも影響している。



## まとめ(2)

---

・経済波及効果を高めていくための対応としては、

⇒消費単価が高い関東圏をはじめとした遠隔県ランナーの参加を促していくこと。(※)

⇒相対的に同行者比率や消費者単価の高い海外ランナーの参加を促していくこと。(※)

※金沢市及び金沢市周辺だけではなく、能登地方についても観光の魅力度を高めていくことや、市内観光を行う際の一層の利便性向上を図ることは極めて重要。

⇒金沢マラソンが石川県の一大イベントとして地元住民や隣接県民により一層浸透し、主体的な参加意識を醸成していくこと。